

◆性同一性障害学会、改名へ
心と体の性が一致しないトランスジェンダーの研究を推進する「GID（性同一性障害）学会」が名称を改名することが14日分かった。トランスジェンダーは障害ではないとして、既に国際的な診断名では使われていない。沖縄県で開かれる学会総会で17日、正式に発表する。

新たな名称は「日本GI（性別不合）学会」とする見込み。2022年に発効された世界保健機関（WHO）の「国際疾病分類」では、精神疾患の分野だった性同一性障害を「性別不合」と改め、性の健康に関する分野に加えられていた。

同学会理事長の中塚幹也・岡山山大学院教授は「性同一性障害という診断名により、社会的に知ってもらえたことには大きな意味があった」と話す。一方でホルモン療法などの治療が保険適用外になっていることや、診療拠点が少ないことなど医療的な課題が多いと指摘。「世界的に同じように性別不合も理解が広まってほしい」としている。